

平成21(2009)年2月14日第120号

学校だより

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

ヒューストン美術館見学

中学部1年生が国語総合の発展学習として、ヒューストン美術館を訪問しました。

今年も貴重な作品を見せていただくことができました。ヒューストン美術館所蔵、江戸時代(18世紀)の「日吉山王祭礼図屏風」(ひえさんのうさいれいずびょうぶ)です。

日本の美術品は、各国の美術館で活発に収集されていますが、定期的な点検や修復が必要です。それは、日本古来の作品が、日本の風土に合った材料と伝統技術で作られているために、海外の技術で修復することが難しいからです。確かに、高温多湿である日本の気候の中で、和紙や木を多く用い、漆(うるし)をふんだんに使われてできた作品には、全くそぐわない気候の国に展示されているものもあるかもしれません。外国で収集されたものの中には、損傷が激しいために展示されず、保管されているままの作品も多いということでした。

そこで、1991年から、外務省や文化庁などが協力して、在外にある古美術を修復する事業が開始され、2007年にこの「日吉山王祭礼図屏風」が選ばれ、修復のために日本へ里帰りしていました。



【スクリーンの映像から】

「日吉山王祭礼図屏風」は、日吉大社の山王祭を描いたもので、日吉大社は比叡山の東、滋賀県大津市坂本に位置し、比叡山延暦寺を守る神を祭る総本社だということです。山王祭は桓武天皇によって神輿が寄進されたのが始まりとされ、時代を経て、織田信長や豊臣家などが関わり、現在に至っています。1枚の屏風から、日本の長い歴史や描かれたその時代の文化を学ぶことができることがわかりました。

余談になりますが、JR湖西線に比叡山坂本という駅があります。文字通り比叡山を訪れる人が乗り降

りする駅です。ヒューストンに赴任する前は、家族で毎年、比叡山坂本駅の少し北にある蓬萊という駅や湖西道路を利用して、志賀という田舎町を訪れていました。近くの比叡山にも足を運んだことがあるので、鑑賞した屏風の背景を知られば知るほど興味が深まってきました。

何かしら、“縁”を感じながら説明を聞き、作品を鑑賞しました。

ラボラトリーでは、修復用の機器



や和紙を見せていただき、説明を受けました。

特に、明治時代に一度修復された「日吉山王祭礼図屏風」の裏紙で使われていた和紙は目を見張るものがあり、それには時代考証ができるであろう文字がたくさん書かれていました。

小関先生の穏やかな語り口に全員が引き込まれ、あっという間の約2時間になりました。時間の経過がとても早く感じられたのは私だけではなかったはずです。先生には、早朝から中学部1年生のために貴重な時間をいただきありがとうございます。

漢字検定から

「漢字」は年齢、学年に関わらず、習得できる知識の一つです。学年相当級の合格を主目標に、今の自分の力にあった漢字の習得や漢字検定の受検を唱え続けてきました。今回も、少数の保護者や教員を含め、約100人が受検しました。

毎年、第3回検定には次のような人が受検します。

まず、自分の日本語力に合った級(たとえば、高校生ですが中学校相当の級や小2で10級など)を受ける人。この人たちは、本当に粘り強く日本語学習を進めています。“継続は力なり”です。

次に、学年相当級(小1は10級、小2は9級、小3は8級など)を受ける人。この人は、3月で終わる学年の漢字学習より進んで学習できています。年度内に学年相当級の合格を目指して、漢字学習に力を入れていた学年がいくつかありました。

最後に、学年を超えた級（中1は学年相当級が4級なので3級や準2級）を受ける人。この人は、現地校の学習が軌道に乗り、補習校の学習も順調で少し余力があります。目標をより高くしてください。

今回、初挑戦の人がいました。静まりかえったカフェテリアで、気がつくと鉛筆を走らせる音だけが飛び込んで来ます。初めて10級を受けた小学校1年生のみなさんは、いい経験をしました。高鳴る心臓の「ドキドキ」が静まるまで、少し時間がかかったかもしれません。



【第3回検定会場の様子】

現在、小学校1年生や2年生をもつ保護者のみなさんは、来年度の第1回検定で、お子様に10級や9級に挑戦させてみてください。学年相当の漢字が習得できているかどうかわかります。受検級に合格するためには、時間をかけて練習問題をこなさなければなりません。保護者は、子どものためにその準備もしっかりとしてあげてください。

そして、子どもたちに合格体験、成功体験、達成感、成就感を味わわせてほしいと思います。合格は子どもたちに自身とやる気を持たせます。また、漢字の読み書きができると、本が読めます。本を読むと新しい漢字を覚え、語彙（ごい）も増えます。上の級にも挑戦しようとして。とてもいい循環です。

～ 若田光一宇宙飛行士 もうすぐ宇宙へ出発 ～

若田宇宙飛行士のお話

小学部4年B組 堀 晃希

若田宇宙飛行士が土曜日お話しをしに来てくれました。若田宇宙飛行士は宇宙でどんな実験をするのかを教えてくださいました。

かえるを使った実験をやるそうです。若田さんはISSのしくみを教えてくれたり、ISSがなぜ落ちないのかを教えてくださいました。

それから、6人の宇宙飛行士の写真も見せてくれました。その人たちは全員ヒューストンに住んでいるそうです。スペースシャトルのそうじゅうの練習のために小型ジェットを使うそうです。ISSから見た

結果は3月中旬に届きます。この結果を受けて、次の受検準備が出来る人は、来年度の第1回検定（5月末か6月初め）にも挑戦してください。

たハリケーンアイクの写真も見せてくれました。思っていたより大きくてびっくりしました。

宇宙に行った若田さんを早く見てみたいです。

昨年9月27日（土）に若田光一宇宙飛行士の激励会を行いました。その時の感想文です。それぞれの学級で、応援メッセージを残し、それを1枚のDVDに収めました。スペースシャトル「ディスカバリー号」で、若田宇宙飛行士とともに、その“応援DVD”も宇宙に行くこととなります。また、“してほしい実験”も伝えました。貴重な時間を利用して、みなさんが希望した実験を試みってくれるかもしれません。打ち上げが少し延期になりましたが、もうすぐ、宇宙で大活躍する若田光一宇宙飛行士の姿が見られます。

入園 入学案内



1月31日は新幼稚園と新小学校1年生の面談、2月7日は高等部、2月14日は中学部入学の説明会が行われました。

4月4日（土）に入園・入学式を行います。

入園・入学式の案内文書を2月の中旬から下旬にかけて発出いたします。入園・入学案内の受け取りをもって、入学許可といたします。

高等部は、入学判定の学力テスト（国語科・数学科）と面接を2月28日に行います。これは、中学部3年生が対象となります。

なお、高等部は学習する教科の履修を選択しますので、入学の案内はありません。入学判定の学力テストや面接の結果を学級担任が伝えますので、その結果をふまえ、4月4日からの学習に備えてください。

◆パトロール当番予定表2月21日◆

～よろしくお願ひします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	中1	18	畑中 正信
2		19	山田 菊之介
3		20	嶋田 みな
4		21	伊勢 尚輝
5		22	伊藤 那紗
6		23	渡邊 優理
7	中2	1	荻島 伸顕
★PM1リーダー		2	古賀 謙一郎
2		3	武井 邦博
3		4	古川 健吾
4		5	森田 健人
5		6	岩崎 匠吾
6		7	中山 怜香
7		8	赤松 勇紀

